



親子共演による注目のステージ！

スペインのノーベル文学賞作家である詩人「フアン・ラモン・ヒメネス」(1881-1958)が1917年に発表した『プラテロとわたし』。ロバの「プラテロ」に優しく語りかけるように、嬉しさや楽しさもそして悲しみも散りばめられた日常の風景が記されています。

かつて中南米の古代遺跡を訪れた際に、ヒトと動物が互いに恐れながらも共に生きてきたことを感じた。時代は変化し、人と動物の関係性は確実に変わってきた。詩人ヒメネスが描いた「私」にとって「プラテロ」はどのような存在だったのだろうか。それを考えたとき、人が動物と心を通わせ語り合う、そんな美しい世界を心に作り出したいと感じた。〈文：山下波父〉

山下和仁 & 山下波父 プラテロとわたし

福岡糸島公演

2022 **2.27** 日曜日

限定
30席

開場 17:30 / 開演：18:00

料金 全席自由 **¥5,500**(消費税込)
※未就学児童入場不可

チケットは以下よりお求めください。



会場

けやきの杜

福岡県糸島市志摩井田原6-2



- 西九州道 前原IC 下車後 JR筑前前原駅より北へ。
- 糸島市役所志摩支所から県道85号線を北へ

プログラム 朗読(波父)とギター(和仁)

フアン・ラモン・ヒメネス詩(長南実訳)
マリオ・カステルヌオーヴォ＝テデスコ作曲

「プラテロとわたし」より

プラテロ/アンジェラスの鐘/帰り道/井戸/月/ロンサール/
子守むすめ/死/追憶/憂い/モゲールの空にいるプラテロ
※変更となる場合がございます。

山下波父 Biography

2000年、長崎市生まれ。幼少の頃より、山下和仁ファミリーカルテット・クインテットとして欧米アジア各地を旅し、クインテットメンバーとして、スペインのコルドバ国際フェスティバルを始め、イタリア、ハンガリー、またアジアでもシンガポール、韓国、日本で公演したほか、ギタートリオ(共演：山下和仁、山下紅弓)としても活動し、2016年には二十年に一度の奈良・春日大社の式年造替にて演奏を披露した。自然への敬愛が深く、高校時代には、父・山下和仁とグアテマラ、メキシコ、ペルー、ボリビアなどを二人旅で歴訪。その後、スペインのノーベル賞作家、フアン・ラモン・ヒメネスの「プラテロとわたし」とも出会い、山下和仁のギターとの共演で朗読を担当し2020年には長崎県対馬にて公開コンサートを開催。朗読のセンスの良さは、自身の執筆活動にも関係すると思われる。優れた音感を持ち、ギター以外にもヴォーカル、鼻笛や石の楽器など、演奏経験が豊富。小学校時代はサッカー少年で、サッカー部キャプテンを務める。高校時代には将棋部で全国大会にも出場。現在、山口大学理学部在学中。昆虫の研究をしている。

【主催&お問い合わせ】

株式会社ミュージック・ステーション



Tel.052-734-3461 [営業時間] 11:00~18:00 (水・日定休)
愛知県名古屋市中千種区内山3丁目25-6 千種ターミナルビル 905